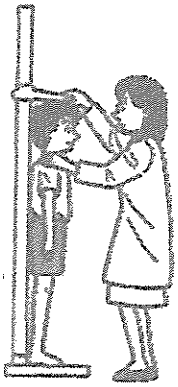
志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

1　定期健康診断における身長の測定について、次の各問いに答えよ。

（1）身長の測定を検査することについて、その意義を答えよ。

（2）身長の測定の方法及び留意事項について、次の（　ア　）～（　コ　）に入る適語を、左の図を参考に答えよ。



①測定の際は必ず（　ア　）で行う。
②身長計の踏み台に上がらせ、（　イ　）をよくつけて（　ウ　）させる。
③尺柱には、（　イ　）、（　エ　）、（　オ　）の一部が触れた状態とする。
④上肢は（　カ　）に垂れさせる。
⑤頭位を（　キ　）に保つため、軽く（　ク　）を引かせる。
⑥正面から見ると、身体の（　ケ　）と尺柱が重なっていなければならない。
⑦目盛は必ず視線を（　コ　）にして読む。

（3）身長の発育を評価するために用いるものを答えよ。

2　「学校における薬品管理マニュアル　令和４年度改訂(令和５年３月公益財団法人日本学校保健会)」に示されていることについて、次の各問いに答えよ。

（1）学校における一般用医薬品の常備の検討の流れについて、次の文の（　ア　）～（　カ　）に入る適語を答えよ。

①一般用医薬品の必要性の把握
　（　ア　）及び養護教諭等は、（　イ　）までの児童生徒の傷病の状況、それに伴う一般用医薬品の使用状況を把握し、校長等と必要性を検討する。
②救急処置への該当確認
　養護教諭等は、一般の医療の対象とならない程度の（　ウ　）な傷病の処置に該当する処置に使用する一般用医薬品であることを確認する。
③一般用医薬品の選定
　校長は、学校医、学校歯科医又は（　エ　）の指導・助言を踏まえて、（　オ　）及び養護教諭とともに、常備する必要性を勘案し、一般用医薬品を選定する。
④児童生徒・保護者等との（　カ　）
　養護教諭は、（　オ　）と協力して、教職員、児童生徒及び保護者等に対して、一般用医薬品の利用について（　カ　）を図る。

（2）保健室の一般用医薬品の保管・管理のポイントについて３つ答えよ。

３　「保健室経営計画作成の手引　平成26年度改訂（平成27年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の各問いに答えよ。

（１）学校保健計画と保健室経営計画について、（　①　）～（　⑨　）に入る適語を下から選び記号で答えよ。

	学校保健計画	保健室経営計画
推進者	（　①　） ＊役割分担して（　②　）に活動を推進	養護教諭が中心
特徴	・学校保健活動の年間を見通して、「（　③　）」「（　④　）」「（　⑤　）」の３領域について立てる総合的な基本計画 ・単年度計画 ・（　⑥　）の評価に位置付け、評価を実施	・教育目標等を踏まえた上で、保健室経営の目標に対して、（　⑦　）、（　②　）に運営するための計画 ・養護教諭の（　⑧　）と保健室の（　⑨　）を踏まえた計画 ・単年度計画 ・保健室経営目標に対する評価を実施

ア　保健部職員	イ　学級経営	ウ　教務主任	エ　校長	オ　計画的
カ　保健委員会	キ　保健教育	ク　健康管理	ケ　機能	コ　継続的
サ　組織的	シ　組織活動	ス　広さ	セ　教頭	ソ　学校評価
タ　保健管理	チ　職務（役割）	ツ　全教職員	テ　学校経営	ト　保健主事

（２）次の文は、学校保健安全法の条文を一部抜粋したものである。（　①　）～（　④　）に入る適語を答えよ。

第７条（保健室）
学校には、（　①　）、（　②　）、（　③　）、（　④　）その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。

（３）次の文は、保健室経営の評価方法について一部抜粋したものである。（　①　）～（　⑤　）に入る適語を答えよ。

保健室経営計画の評価は、養護教諭による（　①　）と教職員等による（　②　）の両方で捉えることが重要である。（　①　）は、養護教諭自身が保健室経営をふり返り、（　③　）し、次年度の保健室経営に生かすための評価である。（　②　）は目標に対する達成の状況について、聞き取りや（　④　）で学級担任等の関係職員、保護者等の意見を聞いたり、児童生徒のふり返りカードから読み取ったりして、（　⑤　）なデータ等で評価する。

４　「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践　平成30年度改訂版（平成30年文部科学省）」に示されている「ダニ又はダニアレルゲン」について、次の各問いに答えよ。

（１）検査回数について、次の文の（　①　）～（　④　）に入る適語又は数字を答えよ。

毎学年（　①　）回教室等内の（　②　）及び（　③　）が高い時期に定期に行うが、どの時期が適切かは（　④　）の特性を考慮した上、学校で計画立案し、実施する。

（２）検査する場所を２つ答えよ。

（３）ダニ又はダニアレルゲンの基準値及び基準値設定の根拠を答えよ。

（４）基準値を超えた場合の事後措置と日常のダニ対策について答えよ。

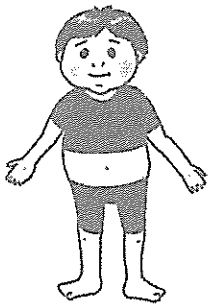
５　「学校検尿のすべて　令和２年度改訂（令和３年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の各問いに答えよ。

（１）検尿方法について、正しいものには○を、誤っているものには×を記入せよ。

①採尿する際は、排尿部周囲の汚れなどの影響を除くために、出始めの尿は捨て、途中の尿（中間尿）を提出する必要がある。

②激しい運動を行うと運動性蛋白尿が出現して翌朝の検尿に影響が出る可能性がある。このため、検査前日は夜間に及ぶ部活動などの激しい運動は控え、就眠直前にトイレに行って完全に排尿する。

③月経時に検尿を行うと、経血が尿に混入して高率に尿潜血が陽性になるため採尿を延期し、月経が終わったらすぐに提出させる。



（２）ネフローゼ症候群の薬物療法で、ステロイド薬を使用している場合の副作用について、右の図も参考に５つ答えよ。

（３）学校生活管理指導表の利用法について、下線部分が正しいものには○を、誤っているものには適語を答えよ。

学校生活管理指導表を腎臓病の子供達に用いる場合には、運動会、体育祭、球技大会、スポーツテストなどの①学校行事への参加の可否、②外遊びの可否の記載が必要になる。前者は運動種目によるものではなく、その運動種目への③取り組み方によって決める。通学が可能な子供で食事制限が必要な場合は稀だが、高血圧やネフローゼ症候群で④糖質制限や末期腎不全で⑤高蛋白食が指示されている子供などで②外遊びが制限、あるいは禁止される場合がある。

６　「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について（令和５年４月28日付け文部科学省初等中等教育局長通知）」に示されていることについて、次の（　①　）～（　⑨　）に入る適語又は数字を答えよ。

・新型コロナウイルス感染症への感染が確認された児童生徒等に対する出席停止の期間は、「発症した後（　①　）日を経過し、かつ、症状が軽快した後（　②　）日を経過するまで」を基準とすること

※無症状の感染者に対する出席停止の期間の取扱いについては、検体を採取した日から（　③　）日を経過するまでを基準とすること

・「症状が軽快」とは、従来の社会一般における療養期間の考え方と同様、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、（　④　）症状が改善傾向にあることを指すこと

・「発症した後（　①　）日を経過」や「症状が軽快した後（　②　）日を経過」については、発症した日や症状が軽快した日の（　⑤　）から起算すること

・出席停止解除後、発症から（　⑥　）日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を（　⑦　）すること。児童生徒等の間で感染の有無やマスクの着用の有無によって（　⑧　）・偏見等がないよう、適切に指導を行うこと

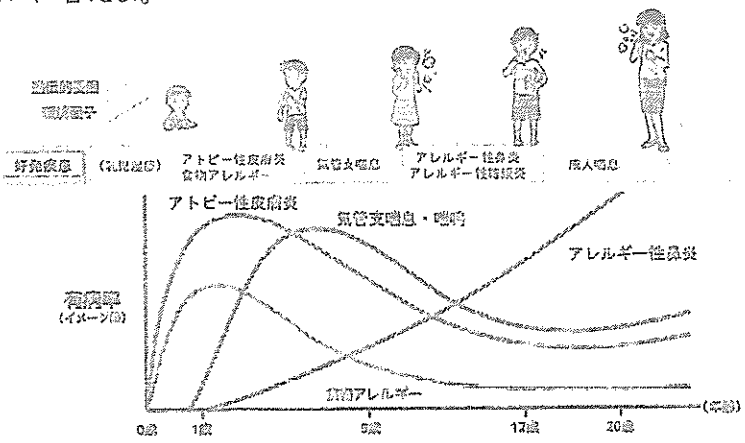
・施行規則第19条第２号のただし書の規定により、同号で示す基準より出席停止の期間を（　⑨　）することは、新型コロナウイルス感染症においては、基本的に想定されないこと

7　アトピー性皮膚炎について、次の各問いに答えよ。

（1）右の図のように、乳児期から幼児期、その後、アレルギー疾患が順番に発症してくる様子の名称を答えよ。

（2）乳児期発症のアトピー性皮膚炎で、血液検査において高値を示す免疫グロブリンの種類を答えよ。

（3）アトピー性皮膚炎はスキンケアが重要であるが、このスキンケアとはどのようなことか説明せよ。



学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q＆A《令和３年度改訂》
（令和３年２月公益財団法人日本学校保健会）

（4）アトピー性皮膚炎の学校生活における注意事項の説明について、正しいものには○を、誤っているものには×を記入せよ。

①汗をかくとかゆみが出たり皮膚炎が悪化したりするため、なるべく汗をかかないように指導する。
②汗をかいた後は、水道の流水で洗い流したり、おしぼりタオルで拭いたりすると良い。
③夏、屋外で体育授業を行う場合、紫外線防御対策にも気を配る。
④アトピー性皮膚炎患児に対しては、基本的にプールに入ることを禁止する必要はない。

8　「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－（令和４年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の各問いに答えよ。

（1）心の健康問題の主な要因と特徴について、①～⑦に当てはまる発達段階を下のア～エから選び、記号で答えよ。

①ストレスを自分で自覚できるようになるとともに、不安や抑うつなど精神的な症状（内在化症状）や引きこもり、攻撃的行動、家出などの問題行動（外在化症状）が現れやすくなる。
②心理面での訴えよりも、頭痛・腹痛・おう吐など体の症状や、落ち着きのなさなど行動面の変化、あるいは睡眠の障害などとなって現れやすい。
③うつ病、双極性障害（躁うつ病）、統合失調症の頻度は高くなり、パーソナリティ障害（人格障害）が出現するのもこの時期である。また、手首自傷（リストカット）や多量服薬などの激しい症状や性の問題がみられやすくなる。
④広汎性発達障害の子供は、教室に入れない、登校を嫌がる、集団を怖がるなどの学校生活への不適応が強まることが多く、この時期になって初めて障害に気付かれることも少なくない。
⑤生命にかかわる危険や、死が取り返しのつかないものであるということが十分には認識できていない。
⑥同級生間の人間関係が複雑となるため、クラスにうまく適応できなかった場合、不登校となりやすい。
⑦教科の難度が高まるに伴い、通常の学級に在籍する学習障害あるいは知的障害のある子供が学習に困難を生じやすくなる。

ア　小学校低・中学年（第１～４学年）	イ　小学校高学年（第５～６学年）
ウ　青年前期（中学校）	エ　青年後期（高等学校）

（2）次の疾病について、主な症状をそれぞれ３つずつ答えよ。また、その疾病の特徴を説明せよ。

①起立性調節障害

②過敏性腸症候群

9　てんかん発作時の口腔用液（ブコラム®）の投与について、次の各問いに答えよ。

（1）「学校等におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム®）の投与について(令和４年７月19日付け内閣府、文部科学省及び厚生労働省関係各部署の事務連絡)」に示されている、教職員が本人に代わりブコラム®を投与する場合の４つの条件について、下線部分が正しいものには○を、誤っているものには適語を答えよ。

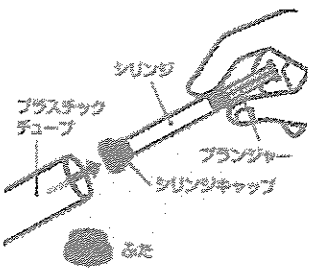
①当該児童等及びその保護者が、事前に㋐薬剤師から、次の点に関して書面で指示を受けていること。
・学校等においてやむを得ずブコラム®を使用する㋑必要性が認められる児童等であること
・ブコラム®の使用の際の留意事項

②当該児童等及びその保護者が、学校等に対して、やむを得ない場合には当該児童等にブコラム®を使用することについて、㋒具体的に依頼していること。

③当該児童等を担当する教職員等が、次の点に留意してブコラム®を使用すること。
・当該児童等がやむを得ずブコラム®を使用することが認められる児童等本人であることを改めて確認すること
・ブコラム®の使用の際の留意事項に関する書面の記載事項を遵守すること

④当該児童等の保護者又は教職員等は、ブコラム®を使用した後、当該児童等を㋓可能な限り医療機関で受診させること。

（2）ブコラム®の投与時の手順について、（　ア　）～（　オ　）に入る適語を答えよ。



①シリンジを取り出す。投与対象者に（　ア　）や（　イ　）がある場合は、拭き取る。
②シリンジキャップを取り外す。万が一、内側の白色キャップが同時に外れていない場合は、（　ウ　）に取り外す。
③投与対象者の頬をつまみ広げる。シリンジ先端を下の（　エ　）と頬の間に入れる。
④ブコラム®をゆっくりと（　オ　）注入する。
⑤プランジャーが固くて押しにくい場合は、少し強めに押して注入する。

10　次の事例について、生徒から相談を受けた場合の対応のポイントを具体的に５つ述べよ。

高校１年生の女子。交際相手（大学生）の過度な干渉や暴力を愛情表現と受け止め、なかなか逃れることができずにいたが、性に関する講話をきっかけに友人に連れられて、保健室に相談に来室した。性的関係を強要され困っていると泣き出した。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

１　２５点

（１）３点

〈解略・・・評価基準〉
成長を評価する基本的な指標、低身長などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

（２）２０点（２点×１０＝２０点）

ア	〈解答例〉裸足	イ	〈解答例〉両かかと	ウ	〈解答例〉直立	エ	〈解答例〉臀部
オ	〈解答例〉背	カ	〈解答例〉体側	キ	〈解答例〉正位（眼耳水平位）	ク	〈解答例〉顎
ケ	〈解答例〉正中線	コ	〈解答例〉水平				

エとオは順不同

（３）２点

〈解答例〉　身長成長曲線

２　２１点

（１）１２点（２点×６＝１２点）

ア	〈解答例〉学級担任	イ	〈解答例〉前年度	ウ	〈解答例〉軽微
エ	〈解答例〉学校薬剤師	オ	〈解答例〉保健主事	カ	〈解答例〉共通理解

（２）９点（３点×３＝９点）

〈解略・・・評価基準〉
保管する場所の温度、湿度などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

３　２７点

（１）９点（１点×９＝９点）

①	〈解答例〉ツ	②	〈解答例〉サ	③	〈解答例〉キ	④	〈解答例〉タ	⑤	〈解答例〉シ
⑥	〈解答例〉テ	⑦	〈解答例〉オ	⑧	〈解答例〉チ	⑨	〈解答例〉ケ		

③～⑤は順不同

（２）８点（２点×４＝８点）

①	〈解答例〉健康診断	②	〈解答例〉健康相談
③	〈解答例〉保健指導	④	〈解答例〉救急処置

（３）１０点（２点×５＝１０点）

①	〈解答例〉自己評価	②	〈解答例〉他者評価	③	〈解答例〉改善
④	〈解答例〉アンケート	⑤	〈解答例〉客観的		

４　２３点

（１）８点（２点×４＝８点）

①	〈解答例〉 1	②	〈解答例〉 温度	③	〈解答例〉 湿度	④	〈解答例〉 地域

②、③は順不同

（２）４点（２点×２＝４点）

〈解答例〉保健室の寝具	〈解答例〉カーペット敷の教室等

（３）６点（３点×２＝６点）

基準値	〈解略…評価基準〉100匹/㎡以下などのキーワードの有無で評価する。
根　拠	〈解略…評価基準〉ぜん息の発作などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

（４）５点

〈解略・・・評価基準〉
電気掃除機を用いて日常的に掃除を丁寧に行うなどのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

5　２３点

（１）３点（１点×３＝３点）

①	〈解答例〉○	②	〈解答例〉○	③	〈解答例〉×

（２）１０点（２点×５＝１０点）

〈解答例〉

満月様顔貌	易感染性	白内障
中心性肥満	血糖値の上昇	過食
皮膚線条	高血圧	
皮膚紅潮	骨密度の低下	
痤瘡（にきび）	骨粗しょう症	
細い四肢	成長障害	
筋萎縮	緑内障	

のうち５つを記入とする。

（３）１０点（２点×５＝１０点）

①	〈解答例〉○	②	〈解答例〉給食	③	〈解答例〉○
④	〈解答例〉塩分	⑤	〈解答例〉低蛋白食		

6　１８点（２点×９＝１８点）

①	〈解答例〉五	②	〈解答例〉一	③	〈解答例〉5
④	〈解答例〉呼吸器	⑤	〈解答例〉翌日	⑥	〈解答例〉１０
⑦	〈解答例〉推奨	⑧	〈解答例〉差別	⑨	〈解答例〉短縮

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

7　１１点

（１）２点

〈解答例〉　アレルギーマーチ

（２）２点

〈解答例〉　IgE

（３）３点

〈解略・・・評価基準〉
肌を清潔に保つなどのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

（４）４点（１点×４＝４点）

①	〈解答例〉×　②	〈解答例〉○　③	〈解答例〉○　④	〈解答例〉○

8　１９点

（１）７点（１点×７＝７点）

①	〈解答例〉ウ	②	〈解答例〉ア	③	〈解答例〉エ	④	〈解答例〉イ	⑤	〈解答例〉ア	⑥	〈解答例〉ウ	⑦	〈解答例〉イ

（２）１２点（３点×４＝１２点）

①	症状	〈解答例〉立ちくらみ失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛、めまい、気持ち悪い、息切れ、腹痛
	特徴	〈解略・・・評価基準〉 思春期に好発するなどのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

②	症状	〈解答例〉腹痛、腹部膨満感及び便通異常（下痢、便秘、下痢と便秘を繰り返す）
	特徴	〈解略・・・評価基準〉 ストレスが原因などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

9　１８点

（１）８点（２点×４＝８点）

㋐	〈解答例〉 医師	㋑	〈解答例〉 ○	㋒	〈解答例〉 ○	㋓	〈解答例〉 必ず

（２）１０点（２点×５＝１０点）

ア	〈解答例〉おう吐	イ	〈解答例〉よだれ	ウ	〈解答例〉確実
エ	〈解答例〉歯ぐき	オ	〈解答例〉全量		

ア、イは順不同

10　１５点（３点×５＝１５点）

〈解略・・・評価基準〉

・生徒が安心して話せる場所に移動などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。